

～奈良時代の隠岐～

年 組 名前

聖武天皇は、不安な世の中が仏教の力で安らくなることを願って、国ごとに国分寺・国分尼寺を建てることを命じました。その時代の隠岐のようすを見てみましょう。

challenge

- ① 隠岐にも国分寺の跡が残っており、そこから当時の建物の瓦が発掘されています。右下の絵は出雲国分寺の想像図です。絵を見て気がついたことを書きましょう。(教科書にある他国の国分寺の想像図とくらべてみてもおもしろいです。)



隠岐国分寺跡



のきまるがわら (隠岐国分寺跡出土)

当時、屋根に瓦がふいてあるのは、役所や寺の建物だけだったんだよ。

- ・塔が建っている。
- ・塀で囲まれている。
- ・建物がきれいに並んでいる。
- ・教科書に載っている国分寺と、建物の形や並び方がよく似ている。



出雲国分寺想像図

「国分寺」の地名が残っているところが全国の色々なところにあるんだよ。地図帳で探してみよう。

- ② 下の写真は、隠岐国の役所で使われたと伝えられているものです。何に使われたと思いますか。



駅鈴 (役人が公用で旅行をする時に駅の馬の使役を証明するもの)

倉印 (印鑑)



和同開珎銀錢 (左はX線写真→)



奈良時代のお金「和同開珎」が隠岐から出土しています。



貴重なものが残っているんだね。

右上の写真は、奈良県の平城京跡から出土した木簡で、隠岐国から都に送られた税(調)につけられた荷札です。都の天皇や貴族が隠岐の海の幸を楽しんだのかも知れません。

- ③どんな品が都に送られていたのでしょうか。
赤い文字が読めるかな？

答え 鰻(アワビ) 烏賊(イカ) 海藻(メ)

隠岐国海部郡 御宅郷弟野里日下部口 調御取銀四斤天平七年
隠岐国周吉郡 新野郷丹志里宗我部 河久多調烏賊六斤天平
隠岐国海部郡 作左郷大井里海部直府 調海藻六斤天平七年